地域リハビリテーション支援センター指定(令和2年4月)に係る調査票

社会医療法人社団 医善会

医療機関名: いずみ記念病院

記入年月日: 令和 1 年 10 月 19 日

1 病院の概要			
所在地	東京都足立区本木1-3-7	(区東北部保健医療圈)
開設年月日	平成 17 年 12 月 1 日		
設置目的		医療と介護 意思を尊重 みます。	きします。
診療科目	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、 吸器外科、循環器内科、乳腺外科、リウマチ科、 神経外科、麻酔科、救急科		
指定医療	保健医療機関・国保療養取扱機関・東京都指定二次救急医療機関・労災保険指定医療機関・結核予防法指定病院・東京都肝臓専門医療機関・東京都感染症診療協力医		
病床数	70 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 7	90 床	計 144 床
訪問・通所リハビリ		☑通所リ	· (21 P2411 12 4)
併設施設	介護老人保健施設 居宅介護支援 訪問看護	訪問介	護

2 指定要件の充足状況

診療体制

地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療体制を有すること

		平	成30年度			1年度・令利 月から 9月 3	F 度
	専従医師	常勤 非常勤	2	名 名	常勤 非常勤	2	名 名
	(うちリハ 専門医)	常勤 非常勤	2	名 名	常勤 非常勤	2	名 名
医療従事者	理学療法士	常勤 非常勤	46	名 名	常勤 非常勤	50	名 名
区原 從 爭 有	作業療法士	常勤 非常勤	16	名 名	常勤 非常勤	16	名 名
	言語聴覚士	常勤 非常勤	9	名 名	常勤 非常勤	4	名 名
	ソーシャルワーク従 事者	常勤 非常勤	7	名 名	常勤 非常勤	7	名 名
医療施設	施設基準	☑脳血管疾患	等リハビリテ	ーション	/料 (I)		
四原旭取	旭队坐牛	☑運動器リハ	ビリテーショ	ン料(I	()		

|※指定後の診療体制や地域支援を実施する専門スタッフの充足予定等を記入してください。

リハビリテーションに関して、外来および入院での対応が可能。入院では主に 急性期から回復期を担い、他医療機関からの受け入れも積極的に行う。

維持期では通院のほか、訪問リハや通所サービスを展開し、法人内のみならず地域の 医療関係ならびに介護事業所との連携強化に努める。

リハビリテーション科専門医をはじめ、地域支援を行うためのリハビリテーション専門職を 配置し、地域や関係機関からの相談および介入依頼に対応するとともに講師派遣なども行う。

② 連携体制

他の医療機関、福祉施設等との連携、協力関係を有すること

		平成30)年度	\rightarrow	平成31年度 度(4月から	
	紹介患者数	1010	人		592	人
	(うちリハ部門)	137	人		94	人
	逆紹介患者数	1430	人		814	人
	(うちリハ部門)	31	人		8	人
	紹介率	14.8	%	\rightarrow	18.4	%
医療機関と		13.5	%	\rightarrow	15.8	%
の連携状況	逆紹介率	21.0	%	\rightarrow	25. 3	%
	(うちリハ部門)	2. 1	%	\rightarrow	0.9	%
	連携病院数	187	施設	\rightarrow	121	施設
	(うちリハ部門)	48	施設	\rightarrow	31	施設
	連携診療所数	262	施設	\rightarrow	197	施設
	(うちリハ部門)	<u> </u>	施設	\rightarrow	10	施設
福祉施設等と	連携施設数	16	施設	\rightarrow	17	施設
の連携状況	(うちリハ部門)	6	施設	\rightarrow	6	施設

※急性期、回復期、維持期の流れを踏まえたリハビリテーションにおける連携状況を記入してください。

「 脳卒中をはじめ、骨折や廃用症候群などのリハビリテーションを早期に開始するため、 他の医療機関からの相談・依頼への返答および転院までの日数の短縮化に努めている。 連携医療機関には定期的に訪問し、当院の医療機能の紹介、連携について説明・相談を 行っている。

③ 相談体制

地域の医療機関、福祉施設等からのリハビリテーションに関する相談等に応じ、必要な情報を提供できる体制にあること

相談窓口設置の有無	取組状況
無	医療連携室・医療介護相談室には社会福祉士7名を配置し、地域の 医療関係や介護事業所、福祉施設などに対して窓口を明確にしている。 また、必要に応じて患者の自宅や医療機関、介護施設へ訪問し、地域 のケアマネージャーや関係職種との協力・連携に努めている。 リハビリテーションについては、外来および入院リハビリの相談に応 じ、患者の状況をふまえた相談支援を実施している。さらに、身体障害 者手帳や精神保健福祉手帳(高次脳機能障害)などの申請に必要な診断 や書類作成の要請にも応えている。

④ 研修体制

地域のリハビリテーションに携わる従事者、家族の会、又はボランティア等関係団体に対し、必要な研修を実施できる体制にあること

研修実施の有無	取組状況
有	平成30年度は地域リハビリテーション関係職種向けの研修会を10回、研究会を1回実施。延べ421人の参加者があった。 2019年度(4月~9月)は研修会を3回。研究会を1回実施。延べ335人が参加し、10月以降も5回の研修会を予定している。
無	平成30年度の講師派遣は、地域リハビリテーション関係職種だけでなく、高次脳機能障害の当事者や家族、市民を対象とした講演会など、計6回の講師派遣を行った。 講師は当センターのリハビリテーション専門医や療法士だけでなく、療法士養成校や医療機関に所属している方々の協力もいただいている。

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

医療機関名 社会医療法人社団 医善会 いずみ記念病院	
1	
任云医療伝入社団 医普云 いりみ記念例院	
二次保健医療圈名	
2 区東北部保健医療圏	
事業実施予定年月日	
3 令和2年4月1日から令和5年3月31日まで	
事業実施予定地域 ※区市町村名を記入してください	ct-000 / 1
二次保健医療圏内 二次保健医療圏内	療圏外
足立区・荒川区・葛飾区	
地域リハビリテーション支援センターの運営体制(予定)	
設置場所 社会医療法人社団 医善会 いずみ記念症	
・医師 常 勤 : 1 名 非常勤 : 2 名 *言語聴覚士 第 勤 : 1 名	常 勤 : 名 非常勤 : 名
職種・人数	常 勤 : 1 名 非常勤 : 名
(R2.4.1現在) ・理学療法士 常 勤 : 3 名 事務職員 ・理学療法士 第 数 : 3 名	常勤: 1 名 非常勤: 名
・作業療法士 常 勤 : 2 名 非常勤 : 名 ・その他 (Nrs)	常 勤 : 1 名 非常勤 : 名
予定する協力施設 ※連携施設が複数ある場合は、別紙による説明可	
連携予定施設名称・所在地・連携内容	
6 (医療・介護施設名) (所在地) (連携内容) 有	
(
予定する協力施設 ※協力施設が複数ある場合は、別紙による説明可	
協力予定協力予定施設名称・所在地・連携内容	
(医療・介護施設名) (所在地) (協力内容)	の数本Ⅲ板並はする
	の教育研修受け入れ の教育研修受け入れ
東京女子医科大学東医療センター 荒川区 講師派遣、療法士の	の教育研修受け入れ
介護老人保健施設いずみ 足立区 支援事業の企画・道 いずみ通所リハビリテーション本木 足立区 支援事業の企画・道	
無 いずみ訪問看護ステーション 本木 足立区 支援事業の企画・道	軍営
いずみ居宅介護支援 足立区 支援事業の企画・追 いずみ訪問介護 足立区 支援事業の企画・追	

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性(東京都保健医療計画)】 <計画期間:平成30年4月1日から令和6年3月31日まで>

地域リハビリテーション支援体制の充実

今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化

地域リハビリテーション関係者の連携強化

地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状と課題につい て意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進する。

災害時リハビリテーション支援体制の構築

大規模災害発生後、被災者に対する生活不活発病予防、居住環境や福祉用具等の調整などのリハビリテーション支援ができるよう、支援センターを中心に、地域の関係機関と連携し、災害時リハビリテーション支援体制の構築に取り組む。

Ⅱ 事業目標(令和2年度から令和4年度まで)

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針(全体目標)

地域で活躍しているかかりつけ医をはじめ、セラピストやケアマネージャー、リハビリ関係 職種の知識・技術の向上を目的に研修会を実施する。さらに日々の取り組みを発表する場や情 報共有できる場として研究会を開催し、多職種間の連携強化とネットワークの拡大を図る。

地域リハビリテーション協議会では、区東北部保健医療圏の地区医師会や心身障害者福祉センター・行政などと地域リハビリにおける問題点や課題を共有するとともに、意見交換を行い 今後の事業展開へつなげていく。

さらに、関係機関が開催する連絡会や会議などへも積極的に参加し、当センターの事業を周知するとともに、相談支援機関として更なる充実を図る。

※各項目の取組目標は次頁以降に記載

T / .	実施内容等(必須の役割)	スペースが足りない場合は、別紙での説明で
地域	リハビリテーション力の向.	Ł
	取組目標	
(1)	相談や質問の多いテーマ	をもとに地域のニーズに沿った研修会を企画・実施する。
(' /	講義だけでなくグルーフ	『ワークや実技なども多く取り入れ、受講者が参加しやすい
	顔の見える研修会を企画し	連携強化に努めていく。
	PT・OT・ST等対象の	症例発表会など【連携施設の活用可】
	実施予定回数	テーマ(予定)
		「歩行」「装具」「摂食嚥下」「作業科学」などPT・OT・ST
(0)	7 回/令和2年度	それぞれの関心の高いテーマをもとに研修会を企画。
(2)		研究会では地域での取り組みを発表できる場を提供。
		「歩行」「装具」は希望が多くシリーズ化し継続した研修会を
	14 <mark>回</mark> (令和3・4年度)	企画。その他、ニーズの高いテーマを把握し企画していく。

	かかりつけ医へのリハビリ	テーション知識・技術情報提供【連携施設の活用可】
	実施予定回数	テーマ(予定)
	Zin i Zin	, , , , , , , ,
	1回/令和2年度	かかりつけ医がかかえるリハビリテーションに関する疑問や
		相談の多い内容をテーマに企画していく。
(3)		さらに関係職種と横のつながりを強化できるよう、グループ
	2 (((((((((((((((((((ワークや事例検討などを企画していく。
	² (令和3・4年度)	
	地区医師会や地域の関係団	体(医療・介護)との連携・協力予定の有無
		(団体・施設名)
	有・無	足立区・荒川区・葛飾区医師会 区中央部地域リハビリテーション支援センター
	これまでの取組状況	
		増加し、セラピストだけでなく、地域のケアマネジャー
(4)		い職種に参加いただいている。
		F修会を3回、研究会を1回実施。延べ350人を超える参加者と
	なっている。10月以降も5	
訪問	通所リハビリテーション:	
14/3 11-3	取組目標	
	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	◆を発表する研究会を開催する。多職種を交え、専門職同士の
(1)	情報共有、役割の理解、連	
		「例検討を実施し実践で役立つ研修会を企画する。
		ジャーとの交流の場の設定【連携施設の活用可】
	実施予定回数	取組予定内容
	人爬了是自然	研修会や研究会を通し情報を伝達・共有するとともに、
(2)	2回/令和2年度	多職種間の意見交換ができる場を設定。
(2)		多椒塩肉の忘光又投がてきる物を放足。
	4 回 (令和3・4年度)	上記同様
	(1)	は、
	ケアマネジャーへの研修【	
	上上上 実施予定回数	取組予定内容
	9回/会和9年度	「地域リハビリテーション」に係る関係職種の役割について
	2回/令和2年度	理解を深め、協働していけるような研修会を企画。
(3)		対応に苦慮する事例の研修希望もあるため検討していく。
, , ,	4 回 (会和3・4年度)	上記同様
	(1740 至十次)	
	1 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	け / 医床 人芸〉 L の法性 カムマウの大気
	地区医師会や地域の関係団	体(医療・介護)との連携・協力予定の有無
	地区医師会や地域の関係団	体 (と 僚 ・ 介護) と の 連携 ・ 協力

		ケアプラン相談支援【連携施設の活用可】		
		1 11 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	1 担談亞什[1.吐甲
	(4)	相談受付方法 電話・FAX・メール・研修会のアンケート	■ 相談受付 ■ 月曜日~土曜日 9	コ・叶间 : 00~17:00
		电前・FAA・クール・切修去のテンケート	月曜日~工曜日 9	. 00, -17 . 00
		これまでの取組状況	プログラス と へが 日本 1、1分 き よ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-bn-#63-100 L-2-
2		2019年度の研究会は、演題数も昨年度の4 超え、地域リハビリテーションへの関心の高		参加有も100人を
		■ 歴え、地域リハビリノーションへの関心の間 研修会では、リハビリテーションの当事者:		%をも <i>しに </i> 久職種
	(5)	間でグループワークを実施し好評であった。		火でもこに多概性
		平成31年度·令和元年度上半期(4月	~9月) のケアプラン相詞	炎支援受付実績
		17件		
	地域	リハビリテーション関係者との連携強化		
		取組目標		
	(1)	当センターの機能や役割についての理解を		
		関する意見交換をおこない、問題点や課題を	把握し今後の活動へつなり	ずる。
		設置を予定する地域協議会(連絡会)		
			施設(参加予定職種)	実施予定回数
		足立区・荒川区・葛飾区		X, B J Z L X
3	(2)	足立区・荒川区・葛飾区 足立区・荒川区・葛飾区	☑役所担当課 ☑心身障害者福祉センター	1回/令和2年度
	(2)	区東北部地域リハヒ、リテーション 東京都福祉保健局		
		協議会 東京都心身障害者福祉セ 東京都理学療法士協会	279-	
		東京都作業療法士会 東京都言語聴覚士会		3回(3年間計)
		これまでの取組状況		
		平成30年度は、介護予防と高次脳機能障害	について3区での取り組み	や課題などを
	(3)	平成30年度は、介護予防と高次脳機能障害 情報共有。事前の情報収集として包括支援セ		
	(3)			
		情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。	ンターや各区の関係部署・	へも訪問し
ш		情報共有。事前の情報収集として包括支援セ	ンターや各区の関係部署・	
Ш	事業	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割)	ンターや各区の関係部署・	へも訪問し 場合は、別紙での説明可
ш	事業:	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割)	ンターや各区の関係部署・スペースが足りない	へも訪問し 場合は、別紙での説明可
Ш	事業:	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割) 町村による在宅リハ支援事業等への支援 <u>予定</u> 実施自治体名	ンターや各区の関係部署 スペースが足りない 地域リハ支援事業委託料からの	へも訪問し 場合は、別紙での説明可
ш	事業: 区市 支援	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割) 町村による在宅リハ支援事業等への支援 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ンターや各区の関係部署 スペースが足りない 地域リハ支援事業委託料からの	へも訪問し 場合は、別紙での説明可
1	事業: 区市 支援	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割) 町村による在宅リハ支援事業等への支援 <u>予定</u> 実施自治体名	ンターや各区の関係部署 スペースが足りない 地域リハ支援事業委託料からの	へも訪問し 場合は、別紙での説明可
	事業: 区市 支援	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割) 町村による在宅リハ支援事業等への支援 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ンターや各区の関係部署 スペースが足りない 地域リハ支援事業委託料からの	へも訪問し 場合は、別紙での説明可
	事業: 区市 支援	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割) 町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※ 予定 実施自治体名	ンターや各区の関係部署 スペースが足りない 地域リハ支援事業委託料からの	へも訪問し 場合は、別紙での説明可
	事業: 区市 支援	情報共有。事前の情報収集として包括支援セ連携強化に努めた。 実施内容等(選択する役割) 町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※ 予定 実施自治体名	ンターや各区の関係部署 スペースが足りない 地域リハ支援事業委託料からの	へも訪問し 場合は、別紙での説明可

	脳卒中医療	連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可		
	支援予定	支援内容		
2	有無			
	これまでの	取組状況		
		に障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業	委託料からの支出不可	
	支援予定	支援内容 支援内容		
3	有無	心身障害者福祉センター(足立区「あしすと」葛飾区「ウ 荒川区「たんぽぽセンター」)が開催する講演会や事例検討 電話での相談支援に加え、必要に応じて訪問を行う。 また、各関係機関への連絡会や会議へ参加し、情報共有に	会などへの講師派遣。	
	これまでの	取組状況		
	(5回)。· 運営委員と	達は、各区心身障害者福祉センターの研修会に講師として医 そして足立区の心身障害者福祉センター「あしすと」の高次服 して活動。また、各区障害者福祉センターの連絡会や関係団 の事業内容の周知に加え、地域での取り組み、課題などを把	脳機能障害ネットワー]体の会議などにも参加	クの
	地域で特に	ニーズの高いテーマに関する研修等(その1)		
		区分	実施予定	
	(1) 地域(のリハビリテーション従事者の研修、援助	有・無	予定有
	(2) 直接	地域住民と接する相談機関の支援	有・無	とした
4	(3)福祉	用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	有 · 無	項目につ
	(4) 地域(の関係団体の支援	有 無	いてはな
	(5)連絡:	会、事例検討会の実施	有 無	次頁も記
	(6) その	也、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	有・無	艾

		ませるTUM □□							
	地域のリハビリテーション従事 把握したニーズの内容	事者の研修、援助 設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数				
(1)	・知識や技術の獲得 ・介護予防、リハビリ関係	・現場で活用できる知識や 技術、連携の場を提供	・研修会・事例検討会・交流会・研究会など	リハビリに係る全職種	21回(3年間)				
	これまでの取組状況								
	セラピスト向け・介護事業所向け・医療従事者向け研修会、地域リハビリテーション研究会、								
	交流会を開催。講義や事例検	対、グループワークなどを実施	i_{\circ}		–				
	直接地域住民と接する相談機関	関の支援							
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数				
(2)	・難渋ケースへの相談支援・講師派遣	・相談窓口の明確化と周知 ・依頼する講師の拡充	・電話やFAX・ メールでの受付 ・必要に応じ訪問 ・講師派遣	・行政・地域包括支援センター・障害福祉センターほか	随時 (3年間)				
	これまでの取組状況								
	相談に随時対応できるよう	事務やスタッフを配置。メール	やTEL以外にも研	开修会開催!	寺の				
	アンケートでの相談も増えてい	いる。講師派遣はテーマや依頼	j内容に合わせ選	定。					
	福祉用具、住宅改修等の相談・	への対応に係る支援							
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数				
(3)	・身体・生活状況に合わせた適切な福祉用具の選定	・患者や利用者の状況に合わせ、福祉用具の選定検討を 多職種とできる	• 相談支援	リハビリに 係る全職種	相談随時(3年間)				
	これまでの取組状況	•		•					
	相談実績としては少ない。								
	相談美績としては少ない。 研修会にて介護ベッドや車いすの使い方・介助時のポイントなどを講義・実技指導を実施。								
		ハすの使い方・介助時のポイン	· トなどを講義・	実技指導を	実施。				
		ハすの使い方・介助時のポイン	トなどを講義・	実技指導を	実施。				
	研修会にて介護ベッドや車に	ハすの使い方・介助時のポイン 設定した課題	トなどを講義・ 支援内容	実技指導を 対象					
(4)	研修会にて介護ベッドや車に 地域の関係団体の支援				実施予定回数				
(4)	研修会にて介護ベッドや車に 地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する 理解と対処法	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー	対象 リハビリに	実施予定回数				
(4)	研修会にて介護ベッドや車に 地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する 理解と対処法 ・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー 派遣	対象 リハビリに	実施予定回数 相談随時 (3年間)				
(4)	研修会にて介護ベッドや車に 地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する 理解と対処法 ・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障等 そのスタッフへの介護予防に	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー 派遣	対象 リハビリに 係る全職種	実施予定回数 相談随時 (3年間)				
(4)	研修会にて介護ベッドや車に地域の関係団体の支援 地域の関係団体の支援 地握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する 理解と対処法 ・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障等 そのスタッフへの介護予防に対する	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー 派遣 遣を5回実施。	対象 リハビリに 係る全職種 生活介護系	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と				
(4)	研修会にて介護ベッドや車に 地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する 理解と対処法 ・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障等 そのスタッフへの介護予防に	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー 派遣	対象 リハビリに 係る全職種	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と				
(4)	研修会にて介護ベッドや車に地域の関係団体の支援 地域の関係団体の支援 地握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する 理解と対処法 ・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障等 そのスタッフへの介護予防に対する	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー 派遣 遣を5回実施。	対象 リハビリに 係る全職種 生活介護系	実施予定回数 相談随時 (3年間)				
	研修会にて介護ベッドや車に地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する理解と対処法・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害をのスタッフへの介護予防に対するののでは、事例検討会の実施を対したニーズの内容 ・関係機関との情報共有と	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 下に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。 設定した課題 ・協議会での意見交換	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー派遣 遣を5回実施。 支援内容 ・協議会開催	対象 リハビリに 係る全職種 生活介護系 対象	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と 実施予定回数 9回				
	研修会にて介護ベッドや車で地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する理解と対処法・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害のスタッフへの介護予防に対するのののののでは高次脳機能障害ののののでである。事例検討会の実施を対したニーズの内容 ・関係機関との情報共有と意見交換 これまでの取組状況	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 下に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。 設定した課題 ・協議会での意見交換	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー派遣 遣を5回実施。 支援内容 ・協議会開催 ・事例検討	対象 リハビリに係る全職種 生活介護 本対象 リハビリに係る全職種	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と 実施予定回数 9回 (3年間)				
	研修会にて介護ベッドや車で地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する理解と対処法・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害をのスタッフへの介護予防に対するののでは、事例検討会の実施を関との情報共有とでは、事別係機関との情報共有とでは、事別の協議会と、必要によりでは、必要によりでは、まずの取組状況。 まずの取組状況 年1回の協議会と、必要によりでは、まずの取組状況 年1回の協議会と、必要によりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、おりによりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、必要によりでは、まずの取組状況 をもまりでは、おりによりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりによりでは、まずの取組状況 をもまりによりでは、まずの取組状況 をもまりによりでは、まずの表情であります。 まずの まずの まずい	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。 設定した課題 ・協議会での意見交換 ・定期的な事例検討	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー派遣 遣を5回実施。 支援内容 ・協議会開催 ・事例検討	対象 リハビリに係る全職種 生活介護 本対象 リハビリに係る全職種	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と 実施予定回数 9回 (3年間)				
	研修会にて介護ベッドや車で地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する理解と対処法・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害をのスタッフへの介護予防に対するののでは、事例検討会の実施を関との情報共有とでは、事別係機関との情報共有とでは、事別の協議会と、必要によりでは、必要によりでは、まずの取組状況。 まずの取組状況 年1回の協議会と、必要によりでは、まずの取組状況 年1回の協議会と、必要によりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、おりによりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりでは、必要によりでは、まずの取組状況 をもまりでは、おりによりでは、まずの取組状況 をもまりでは、まずの取組状況 をもまりによりでは、まずの取組状況 をもまりによりでは、まずの取組状況 をもまりによりでは、まずの表情であります。 まずの まずの まずい	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。 設定した課題 ・協議会での意見交換 ・定期的な事例検討 り事業を進めるにあたり「情報	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー派遣 遣を5回実施。 支援内容 ・協議会開催 ・事例検討	対象 リハビリに係る全職種 生活介護 本対象 リハビリに係る全職種	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と 実施予定回数 9回 (3年間)				
	研修会にて介護ベッドや車で地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する理解と対処法・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害をのスタッフへの介護予防に対するののでは高次脳機能障害をある。事例検討会の実施を対したニーズの内容 ・関係機関との情報共有と意見交換 これまでの取組状況 年1回の協議会と、必要による設置し開催。年2回、事	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。 設定した課題 ・協議会での意見交換 ・定期的な事例検討 り事業を進めるにあたり「情報	支援内容 ・講師派遣 ・アドバイザー派遣 遣を5回実施。 支援内容 ・協議会開催 ・事例検討	対象 リハビリに係る全職種 生活介護 本対象 リハビリに係る全職種	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と 実施予定回数 9回 (3年間)				
(5)	研修会にて介護ベッドや車に地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する理解と対処法・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害をのスタッフへの介護予防に対するののでは高次脳機能障害をののである。事例検討会の実施を対したニーズの内容 ・関係機関との情報共有と意見交換 これまでの取組状況 年1回の協議会と、必要によるを設置し開催。年2回、事業をの他、地域のリハビリテーを	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。 設定した課題 ・協議会での意見交換 ・定期的な事例検討 ・の事業を進めるにあたり「情報 列検討会を実施。	支援内容 ・講師派遣・アドゴー派遣 ・アル遺 遺を5回実施。 支援内容 ・協議会開催 ・事例検討 級交換会」や「過報交換会」を「過程を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	対象 リハビリに 係る全職種 生活介護 対象 リハビリに を 対象 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいが、 はいが、	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と 実施予定回数 (3年間)				
	研修会にて介護ベッドや車に地域の関係団体の支援 把握したニーズの内容 ・高次脳機能障害に対する ・預解と対処法 ・介護予防へのアドバイス これまでの取組状況 平成30年度は高次脳機能障害をのスタッフへの介護予防に対するの人でである。事例検討会の実施 把握したニーズの内容 ・関係機関との情報共有と意見交換 これまでの取組状況 年1回の協議会と、必要によるを設置し開催。年2回、事役の他、地域のリハビリテー・把握したニーズの内容 ・地域リハビリの資源情報の	設定した課題 ・研修会や講師派遣を通し 高次脳機能障害の理解を促す ・介護予防に係るスタッフへの 援助 書に関する研修会などへ講師派 対するアドバイスを11回実施。 設定した課題 ・協議会での意見交換 ・定期的な事例検討 ・り事業を進めるにあたり「情報を変更を実施。 ションの推進に必要な事業 設定した課題 ・地域資源の調査と情報発信	支援内容 ・講師派遣・アドバイザー派遣・アドガイザー派遣 支援内容 ・協議会開催・事例検討 ・事例を引 ・本ームページや FAXによる情報	対象リハビリに 係る全職種生活介護対象リハビリに車絡会」・リハビリに	実施予定回数 相談随時 (3年間) 川用者と 実施予定回数 (3年間)				